

令和2年4月23日

関係各位

自然生命科学研究支援センター  
ゲノム・プロテオーム解析部門  
部門長 一瀬 勇規

「新型コロナウイルス感染拡大防止のための岡山大学の研究活動指針」に基づく  
ゲノム・プロテオーム解析部門の業務縮小について

「新型コロナウイルス感染拡大防止のための岡山大学の研究活動指針」に基づき、  
ゲノム・プロテオーム解析部門においても、下記の通り必要最小限の業務体制に移行  
致します。ご不便をおかけしますが、ご協力の程、よろしくお願い致します。

#### 記

期間：令和2年4月23日～学内の警戒レベルが緩和されるまで

内容：これまでの通常業務のうち、施設利用の書類受付や受託解析等は休止します。  
部門スタッフは施設の維持に必要な最小限の勤務になりますので、緊急時等の対  
応も遅延することが予想されます。

ただし、現在の警戒レベルの内容に該当する下記の研究スタッフに限り、施設  
内の実験室や機器の利用を認めます。玄関にスタッフが待機していない間は施  
錠することがありますので、その場合は平日でもカードキーにて入館してくだ  
さい。なお、セミナー室の利用や上記に必要な納品や修理以外の業者の立ち入  
りはご遠慮ください。

#### 研究活動における現在の警戒レベル

○新型コロナウイルス対策に直接的に関わる研究以外は原則停止とし、新たな研究  
は行わない。

○次の者は、部局長が必要と判断した場合のみ研究室への立ち入りを許可。（ただ  
し、学部学生・大学院学生の入室は許可しない。）

(1) 研究中止により研究上の大きな影響を被ることになる、長期間にわたって継続  
している実験を遂行中の研究スタッフ

(2) 進行中の実験を終了又は中断する業務に関わる研究スタッフ

以上

<お問合せ>

自然生命科学研究支援センター ゲノム・プロテオーム解析部門

宮地孝明 e-mail: [miyaj-i@okayama-u.ac.jp](mailto:miyaj-i@okayama-u.ac.jp)